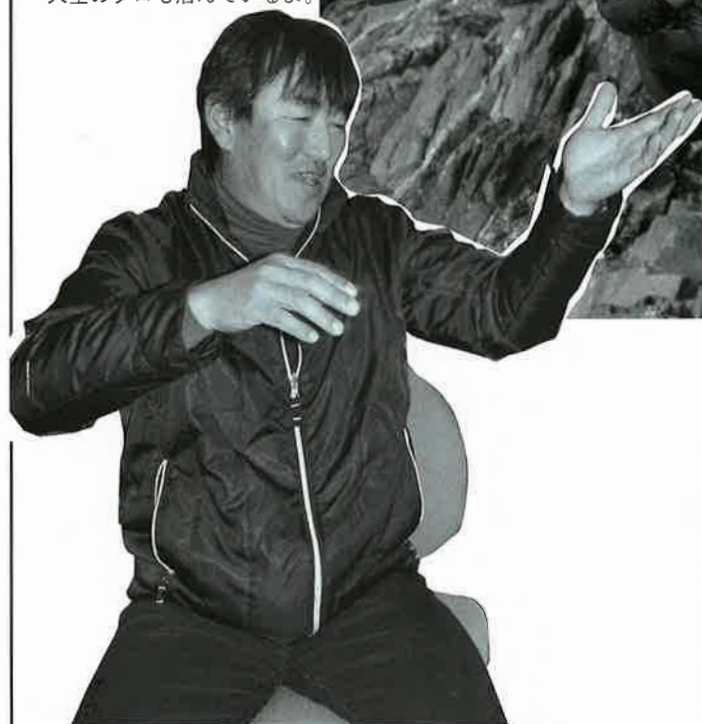


12月8日、間泊にて▶
今年最高のクロ50cmを
ゲット!

ゴミが薄っすらと
溜まるようなところは、
大型のクロも潜んでいるよ。



編集部 次に当て潮なんです、この潮回りは苦手とする人が多く、このような気がするんですけど、この潮回りでクロの攻略ってどんなもんですか?

野間氏 当たり潮も個人的には好きな潮回りの一つ。攻め方次第では結構にいいクロが出るしね。キツイ当て潮の時だけど、一番肝心なことは釣りダナを深く入れすぎないこと。例えば、当たり潮が入るまでは3ヒロの釣りダナでクロが喰ってたら、キツイ当たり潮が入った時は2ヒロダナ程度で仕掛けを入れるのが

『当たり潮』でクロを釣る

いい。クロも浮いてきてエサを喰ってくることも多いから、深く入れるとツケエがクロより下になる場合もあるからね。

また、当たり潮で流れ藻や漂着物などが薄っすら溜まっているような所だと、そこには動物プランクトンや植物プランクトンなどの自然エサがいっぱいあるからクロの魚影が濃いよ。狙って釣れないわけがない!

と、と、と、非常に残念ですがページの関係上、今回お伝えできるのはここまで。残りの潮回りのクロ攻略法は次号にて。



クロ生態雑学

鹿児島県水産学部教授が学生とともにクロの餌付け訓練(学習実験)を行ったという著書がある。その一部分を抜粋してみると『クロは餌付けに関しては2日間でマスターし、非常に学習能力の高い魚だと思われた。他の魚も日数は異なるが一度学習すると複雑な餌付け訓練でも段階的にマスターし、特にインダイはその代表例で、水族館などで紫外線が当てられた札をくわえるといったショーも餌付け訓練によって成されたものである。ところがクロの場合、最初の単純な芸は他の魚よりも早くマスターしてしまうが、段階的に複雑な芸を教え込んでいくと、ある程度までマスターした時点で全く反応しなくなってしまう。同じ訓練を何回くり返しても、クロは同じような段階に達すると全く反応しなくなってしまうのである。したがってクロの餌付け訓練は途中で断念せざるを得なくなった。』と、このような報告が記載されている。さて、皆さんはこのことに対してどう思われるだろう?水槽と海とでは若干、違いがあるだろうが、何処かしらの場面で応用できることがあるかもしれない。

